

広報・PI チーム 会議録

会議の名称	川口市自治基本条例策定委員会 第6回広報・PI チーム
開催日時	平成20年6月17(火)18時30分から20時30分
開催場所	川口市職員会館 2階 講座室B
出席者	(リーダー)伊田(昭)委員 伊田(清)委員、永瀬委員、堀和委員
会議内容	市民フォーラムについて 広報の進捗状況について
会議資料	・伊田(昭)委員作成資料 ・堀和委員作成資料 ・伊田(清)委員作成資料 ・広報かわぐち原稿案
発言内容	市民フォーラムについて チームリーダー ・本日は市民フォーラムの内容について検討したいと思う。 チームリーダー提出資料の説明。 事務局 ・日にちは、9月14日(日)午後から、会場(フレンジア)と市長の予定を押さえている。 ・会場は400名くらい入るが、スペース上200名くらいがちょうどいいと思う。 ・キャッチフレーズは各部会から募集した。 チームリーダー ・まず理念について決めることになると思うが、キャッチフレーズは市民フォーラム当日にPRしたいと思う。 ・質疑応答をここで入れるときりがない。 ・まとめが10分では足りないのではないかと。 ・ワークショップはいいと思うが、ポストイットはよくない。ポストイットに慣れていない人とそうでない人がいるし、既に素案ができていて段階なので、あまりアイデアをポストイットで出しても効果は薄いと思う。 堀和委員提出資料の説明。

チームリーダー

- ・ワークショップのコーディネーターは誰のイメージなのか。
- ・委員のなかで選抜してはどうかと思う。また事務局をどうつけるか、部会長にどう参加してもらうかはまだ考えていない。

伊田（清）委員提出資料の説明

事務局

- ・ワークショップはいいと思うが、自治基本条例自体を知らない方が来ると、意見をまとめて発表までできるだろうか。
- ・無理にまとめる必要はなく、こんな質問が出たということでもよいと思う。
- ・ワークショップの結果を発表しても、いろいろな意見や質問が出るだろうからあまり意味はないと思う。
- ・10テーブルくらいになると思う。
- ・ワークショップの内容を詰めないといけないと思う。
- ・一番大事なのは自治基本条例の理念と構成、意味づけかと思う。細かい項目はワークショップのなかでやっていけばよいと思う。

チームリーダー

- ・コーディネーターの役割は極めて大きいと思う。

事務局

- ・10テーブルもあるとどこに入るか市民の方は迷うのではないかと思う。

チームリーダー

- ・受付の時点で市民、職員、議員がバランスよく分けられるようにしたらよいと思う。

事務局

- ・友達と来た方は分かれるのに抵抗があるかもしれない。
- ・素案の内容をよく知る人がコーディネーターになる必要がある。
- ・部会長に加えて編集委員に協力してもらってはどうか。

チームリーダー

- ・編集委員の10名のうち5名に協力してもらってはどうか。
- ・コーディネーターが素案の内容を説明することになるのか。
- ・私は全体の場で素案の内容を報告したほうがよいと思う。

チームリーダー

- ・私は素案の概要を30分のなかで話したらどうかと思う。
- ・あまり個々人に任せると、素案の話し方が違ってくると思う。

事務局

- ・机を用意するとなると、250名くらいが限度かと思うので、机とレイアウトについては確認する。

チームリーダー

- ・プログラムの最初から検討したいと思う。
- ・市長の挨拶を最後するのはどうか。

事務局

- ・申し訳ないが、市長の挨拶を最後にすることは難しいかと思う。
- ・B案のテーマを決めて移動はなしでいいのか。

チームリーダー

- ・そうである。流山市ではB案のようなものであった。
- ・ワークショップに1時間半も要らないと思う。もっと素案を丁寧に説明してはどうか。
- ・終了が5時というのは難しいと思う。

事務局

- ・休憩を入れたら帰る人も出てくるかもしれない。
- ・拘束時間は3時間でもきついかもしれない。
- ・全体説明の後の質疑応答はないほうがよいと思う。

チームリーダー

・全体での質疑応答はやめる。

・テーマごとにワークショップをしたほうがよいと思ったが、難しいか。

チームリーダー

・受付で割り振るのは難しくなる。

・いくつかのグループに分かれた後、条例を3つくらいに区切って、質疑応答をしたほうがよいと思う。

・まずは素案を理解していただいて、もっと深めるところはアンケートで補足してはどうかと思う。

チームリーダー

・各グループごとの発表は10もあり、難しいとも思う。

・まとめとして誰か発表することになるかもしれない。

・そのまとめが大事かなと思う。

・各グループ似たような話になりやすいので、各グループでの発表はやめたほうがよいと思う。

チームリーダー

・「意見は今後検討します」としかいえないように思う。

事務局

・今後の予定とか、ホームページを見てくださいということを知らせたらよいと思う。

・確認だが、全体での説明ではどこまでやるのか。

チームリーダー

・素案の概要は説明する。

事務局

・いくつか住民投票や行政経営のルールなど、参加者の興味が強そうなものを具体的に折り込みながら、全体を説明したほうが、市民にとってとつきやすいと思う。

・素案は条文に近いものが出てくると思う。

事務局

- ・今回のフォーラムは対話集会も含めた目的ということでよいのか。また、周知に徹するという方法もあるが。

チームリーダー

- ・周知だけではなく、意見も聞く、公聴もするという機会にしたいと思う。
- ・重点は広報に近いが、素案ができているから、意見を聞く機会もあったほうがよいと思う。

事務局

- ・パネルディスカッションという選択肢もある。パネルディスカッションでの議論を聞いてはじめて参加者が気づくこともあると思う。

チームリーダー

- ・市職員に50人くらい来てもらいたいが、可能か。
- ・目標を200名にしたら、200名をどう動員するかについて検討する必要がある。

チームリーダー

資料により準備についての説明。

事務局

- ・参加人数の把握という点も準備に入れておいたほうがよいと思う。

チームリーダー

資料により駅頭PIについての説明。

- ・広報かわぐちへの掲載は9月号か。

チームリーダー

- ・そうである。

チームリーダー

- ・この詳細は今日議論するのは、やめよう。

事務局

- ・当日の段取りも重要であるが、事前準備の段取りをきちんと決める必要

	<p>がある。予定はどんどんおせおせになる。事前準備を誰がいつごろ何をやるのか、後日検討していただきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また当日のプログラムについても時間、場所、誰がやるのか明確にしたほうがよいと思う。 <p>広報の進捗状況について</p> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報かわぐちの原稿について説明。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の会議で骨格はできてきたと思う。さらに再度整理していくので、次回もう1度会議をお願いしたい。次回は6月25日18:30から。 ・お手伝いしていただける人を入れてはどうかと思う。委員以外の方でもボランティアとして参加してもらえる人を考えている。 ・大人数を募集して、市民フォーラムをお手伝いいただける人が集まっていたらと思う。 ・47人も委員がいるので、本当は委員で協力しあえたらいいと思うが。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民フォーラムに委員は原則参加であろうが、強制するものではない。 ・やはり動員をどうするかについてよく考えておかないといけないと思う。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民パートナーステーションの団体に声をかけて関心をもってもらいたいところである。地道に口コミなどで誘うしかないと思う。 ・協働フォーラムに参加した団体の力も借りながら進めたいと思う。 ・キャッチフレーズをぜひ決めておきたい。これはポスターでも何でも広報するとき非常に重要になる。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回また具体的に検討したいと思う。本日は以上で終了する。 <p style="text-align: right;">以上</p>
次回以降日程	平成20年6月25日(水)18時30分から。